

Q3 病害虫・雑草が発生しやすく、被害も大きくなりやすい樹種・草種名と、その病害虫・雑草名を記載して下さい(樹種・草種名は8つまで、病害虫・雑草名は5つまで)。

	樹種・草種名	病害虫・雑草名
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5	<input type="text"/>	<input type="text"/>
6	<input type="text"/>	<input type="text"/>
7	<input type="text"/>	<input type="text"/>
8	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【害虫対策について】

Q4～6では、害虫への対策についてお聞きします。(病害についてはQ7、雑草についてはQ8～9にてお聞きします。)

Q4 街路樹や公園緑地の樹木・草種で、害虫による被害を低減するための工夫について、該当する番号の欄に“ ”を記入し、その工夫について樹種・草種や害虫名を記入の上、備考に詳しく御説明下さい。

を御記入下さい。

1	<input type="text"/> 様々な植物の混植により、多様性を保全して、害虫の多発を抑制する工夫。	備考 <input type="text"/>
2	<input type="text"/> 職員による見回り・観察による害虫や害虫による被害の早期発見	備考 <input type="text"/>
3	<input type="text"/> 周辺住民による見回り・観察による害虫や害虫による被害の早期発見	備考 <input type="text"/>
4	<input type="text"/> 誘蛾灯による予察	備考 <input type="text"/>
5	<input type="text"/> フェロモントラップによる予察	備考 <input type="text"/>
6	<input type="text"/> その他	備考 <input type="text"/>
7	<input type="text"/> 何もしていない。	

Q5 実施している防除の内容について、実施している主な植物名と対象とする害虫の種類を下記枠内から番号を選択し御回答下さい。(複数回答可)

を御記入下さい。

1	成虫、幼虫や卵塊の捕殺・焼却・掻き取り	主な植物名 <input type="text"/>
		害虫種類 <input type="text"/>

2	害虫の発生部位や被害部位の剪定・つみ取り	主な植物名					
		害虫種類					
3	コモ巻き	主な植物名					
		害虫種類					
4	黄色蛍光灯による活動抑制	主な植物名					
		害虫種類					
5	フェロモントラップでの誘殺	主な植物名					
		害虫種類					
6	生物農薬(微生物剤等)による防除	主な植物名					
		害虫種類					
7	農薬による防除 (Q6もお答え下さい)	主な植物名					
		害虫種類					
8	その他(右の欄に具体的に御記入下さい)	防除の内容					
		主な植物名					
		害虫種類					
		防除の内容					
		主な植物名					
		害虫種類					
9	特に防除に関わる管理は行っていない。 理由をお聞かせ下さい。	害虫種類					

害虫種はこちらからお選び下さい

アメリカシロヒトリ ドクガ類(チャドクガなど) イラガ類(イラガ、アカイラガなど) 以外で、刺される等の被害が生じる鱗翅目(マツカレハなど) 上記以外の鱗翅目(モンクロシャチホコやオビカレハ、チャハマキなど) アブラムシ類 カイガラムシ類(カイガラムシ、ロウムシ等) ダニ類 甲虫類(カミキリムシ、テントウムシ等) その他(ハバチ、アザミウマ、ハモグリバエ等) 具体的に	
--	--

Q5の7に回答いただいた場合、次のQ6にも御回答下さい。

Q6 農業分野では、土着天敵への影響が少ないとされる等の理由から、IPM手法の一つとして取り入れられている農薬の系統があります。
農薬を使用した防除を行う際に、それら系統の剤を利用している場合、利用していない場合それぞれの理由を、下記枠内から番号を選択し御回答下さい。

1	IGR(昆虫成長制御)剤	利用有り	理由					
		利用無し	理由					
2	BT剤	利用有り	理由					
		利用無し	理由					

3	マシン油乳剤	利用無し	理由							
			その他の場合							
		利用有り	理由							
			その他の場合							
4	その他IPMの概念に合う剤	利用無し	理由							
			その他の場合							
		利用有り	理由							
			その他の場合							
		利用有り	理由							
			その他の場合							

利用している理由はこちらからお選び下さい。

薬害が少ない	効果が高い
住民の要望	価格が安い
環境負荷・天敵への影響を考慮	使いやすい(使用可能回数、適用範囲等)
人畜毒性を考慮	その他(具体的にご記入下さい)

利用していない理由はこちらからお選び下さい

対象作物・害虫に適用がない	使ったことがない、又はよく知らない
防除効果が低い、又は短い	薬害や車・建物に飛散した場合の汚損が心配
速効性に劣る	その他(具体的に御記入下さい)
価格が高い	

<参考> 主な商品名

IGR剤:ロムダンフロアブル、ノーマルト乳剤、マトリックフロアブル等

BT剤:トアロー水和剤CT、ガードジェット水和剤、バシレックス水和剤等

【病害対策について】

Q7では、病害対策についてお聞きします。

Q7 街路樹や公園緑地の樹木・草種で、病害による被害を低減するための工夫及び実施している防除の内容について、実施している作業ごとに、樹種・草種と病害名及びその防除を実施する理由などを備考に詳しく御説明下さい。

1 剪定、枝おろしによる換気等の改善

樹種・草種	病害名等	備考

2 排水の改善

樹種・草種	病害名等	備考

3 剪定後の傷口の保護

樹種・草種	病害名等	備考

4 病葉や病枝、枯れ枝等の除去による感染源の排除

樹種・草種	病害名等	備考

5	干害の防止		
	樹種・草種	病害名等	備考
6	職員による見回り・観察による、被害の早期発見		
	樹種・草種	病害名等	備考
7	周辺住民による見回り・観察による、被害の早期発見		
	樹種・草種	病害名等	備考
8	農薬による防除		
	樹種・草種	病害名等	備考
9	その他の対応(備考に詳しく御記入下さい)		
	樹種・草種	病害名等	備考
10	特に何もしていない(備考に理由を御記入下さい)		
	樹種・草種	病害名等	備考

【雑草対策について】

Q8～9では、雑草対策についてお聞きします。

Q8 街路樹や公園緑地、その他市有地などを管理する際に実施している、雑草を発生させないための工夫について、実施している作業ごとに、工夫を行っている管理場所名(庁舎敷地内や芝生広場等)等を御記入下さい。

1	カバープランツの植栽(導入植物名についても御記入下さい。)	
	実施場所等	
2	ウッドチップ、砂利等での被覆	
	実施場所等	
3	未熟堆肥の使用回避	
	実施場所等	
4	その他(工夫の内容についても詳しく御記入下さい)	
	実施場所等	
5	何もしていない。(理由があれば御記入下さい)	

Q9 雑草が繁茂してしまった場合に実施している防除の内容ごとに、主な対象雑草、主な実施場所及びその防除を実施する理由についてご記入下さい。

1	手除草		
	主な対象	主な実施場所	理由

2	機械除草		
	主な対象	主な実施場所	理由
3	動物(ヤギ、牛等)による除草		
	主な対象	主な実施場所	理由
4	生物農薬(微生物剤)		
	主な対象	主な実施場所	理由
5	除草剤による防除		
	主な対象	主な実施場所	理由
6	その他(理由の欄に実施内容を詳しく御記入下さい)		
	主な対象	主な実施場所	理由
7	特に対応はしない		
	主な対象	主な実施場所	理由

【街路樹・公園緑地等の管理コストについて】

Q10 病虫害・雑草の管理について、農薬の散布を中心とした管理から、それ以外の手法での管理に移行したことがある自治体にお聞きします(一部の施設のみでの移行も含みます)。管理コスト面ではどのような変化がありましたか？ 実際にかかった費用の変化や、予算編成上変わった部分など、詳しくご説明下さい。

--

【市民の関わりについて】

Q11 貴市では、街路樹・公園緑地等の植栽の管理に関して市民協働の取り組みを行っていますか。該当する番号の欄に“ ”を御記入下さい。(複数回答可)

- 市民協働の取り組みを行っており、市からは金銭的又は物的な支援を行っている。
次のQ12にもお答え下さい。
- 特に市からの支援を受けない形での、市民協働の取り組みが行われている。
次のQ13にもお答え下さい。
- 市民は街路樹・公園緑地等の植栽の管理には関わっていない。

Q12 植栽の管理(特に病虫害防除・除草について)に関する市民協働に対して支援を行っている場合、どのような内容ですか。金銭的援助の場合、物的援助の場合でそれぞれその内容などをご説明下さい。

--

Q13 市からの金銭的・物的支援を受けずに行われている、植栽の管理(特に病害虫防除・除草について)に関する市民協働について、その内容等をご説明下さい。

【植栽の目的による管理手法の違いについて】

Q14 貴自治体で、植物園や桜祭りの会場となる桜並木のように、観光目的等のために特定の植物を保護する必要がある場所の管理を行っている場合、通常の公園等の管理と、管理手法がどのように異なるか、具体的な植物、病害虫等をあげて記述して下さい。

Q15 今回のアンケート結果に関して、詳細な内容について電話もしくは直接伺ってお教え願いたい場合、ご協力いただけますか？ 該当する番号を御記入下さい。

Q20回答欄

- 1 協力は可能
- 2 協力は不可能
- 3 条件次第で協力可能(具体的に御記入下さい)

Q16 そのほか、コメント等ありましたら記載ください。

ご協力ありがとうございました。